

平成 26 年度 第 3 回「由布市子ども・子育て会議」議事録

日時：平成 26 年 7 月 30 日（木）14：00～

場所：由布市役所 庄内庁舎 3 階大会議室

<次 第>

委嘱状交付

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事内容（由布市子ども・子育て会議設置条例第 5 条）
 - (1) 地域子ども・子育て支援事業供給体制等具体的な支援の内容検討について
 - (2) 前回のグループ討議結果について
 - (3) グループ討議
 - 保育園について
 - 幼稚園について
 - 認定こども園について
 - 放課後児童クラブについて
 - 基本理念と目標・圏域に関する意見
4. 閉会

<議事内容>

(事務局)：冒頭挨拶

(会長)：冒頭挨拶。それでは、事務局からお願いします。

(事務局)：はい、それでは、議事に入らせていただきます。「資料 1 (1) 地域子ども・子育て支援事業 (13 事業) 供給体制等具体的な支援」の内容検討についてご説明します。続きまして「資料 2」、「資料 3」についてご説明します。

(会長)：はい説明ありがとうございました。ここまでで何かご質問等はございますか。

(副会長)：他市町村への広域入所（特に大分市への）の取り扱いはどうなるのか。

(事務局)：認定と保育料等は由布市の内容は反映される。由布市の保育料については来年度も現状維持で考えています。

(会長)：大分市では、来年度 60 数箇所のうち、20 数箇所の保育園が認定こども園へ移行するようです。

(事務局)：前回のグループ討議の結果をお知らせします。

- (会長) : 前回のグループ討議の結果について何かご意見はございませんか。
地域(湯布院・庄内・挾間)に応じた個別の施策を真剣に考えないと、また5年後に過疎化が進むことが目に見えます。他にご意見がなければ事務局から引き続きお願いします。
- (事務局) : はいそれではグループ討議に入らせていただきます。
- (会長) : それでは各グループから意見発表をお願いします。

(主な討議結果)

1班

- ①保育料を県内で1番安くしてほしい。長野県の「しもじょう村」の取り組みを参考に。
- ②企業誘致や企業に対して子育て支援を強化してもらおう。企業への理解。
- ③由布市の子育て支援センターを機能強化して、病児・病後児保育や虐待対応ができる育児支援の中核にしてはどうか。
- ④民生委員が子どもたちに対してもっと声(気)をかける
- ⑤プレミアム商品券に子育て世代の特典を付ける。2割増し。
- ⑥子どもが生まれてから中学を卒業するまでは地域全体で子育てをする環境が必要
- ⑦保育士の職場環境改善
- ⑧夏休みの居場所づくり

2班

- ①認定こども園については移行の時期は慎重にする
- ②20代から30代が住みやすい町づくりが定住につながると思う。
- ③病児・病後児の対策充実→庄内町に作る
- ④企業の施設内保育を増やす
- ⑤保育士の職場環境の改善
- ⑥保育料を安くする→定住にもつながる

3班

- ①保育園の一時預かりで「リフレッシュ券」を発行して親に気分転換してもらおう
- ②幼稚園の延長保育について、小学校の就業に合わせてはどうか
- ③放課後児童クラブの増改築も必要ではないか
- ④少子化対策については、給食費等の免除も検討してみてはどうか

(会長) : 次回は、8月28日(木)14時からの予定です。次回も皆さんと一緒に由布市の計画について貴重なご意見をいただきたいと思います。次回も引き続きよろしくをお願いします。